科目名	運用エンジニアリング							年度	2024
英語科目名	operations Engineering							学期	後期
学科・学年	情報処理科 システム運用コース 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	小高	教員の実務経験		有	実務経験の職種 システ		ムエンジニア		

【科目の目的】

ITシステムの円滑な運用に必要な知識と技術を学びます。

【科目の概要】

ITシステムの円滑な運用に必要な知識と技術を学びます。

【到達目標】

RPAで自動処理を行う知識を習得し、実際にアルゴリズムを作成することができる。利用者の利便性を考慮したプログラミングができる。情報の整理、管理の重要性を理解する。

【授業の注意点】

テキスト、ノート、筆記用具、ノートパソコンを必ず持参すること。必ず復習を行うこと。授業時間内に終わらなかった実習課題がある場合は、各自で次の授業までに終わらせておくこと。授業に出席するだけでなく、社会人への移行を前提とした受講マナーで授業に参加すること。特別な理由(路線の運休、法定伝染病など)のない遅刻や欠席は認められない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準=ルーブリック						
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力	
到達目標 A	簡単な処理として他の ソフトウェア をRPAツールで操作で きる	RPAと他のソフトウェ アとの連携のためのア ドインツール等の設定 ができる	RPAのインストールか	RPAの知識がある程度 あるが、インストール ができない	RPAの知識が不十分	
到達目標 B	RPAツールで表計算ソフトの全体的な操作を複合的に組み合わせて自動化できる	フトの全体的な操作を	RPAツールで表計算ソフトの基本操作を単一にて自動化できる	表計算ソフトの操作が できる	表計算ソフトの操作が できない	
到達目標 C	RPAツールで文書ソフトの全体的な操作を複合的に組み合わせて自動化できる	RPAツールで文書作成 ソフトの全体的な操作 を単一にて自動化でき る	RPAツールで文書作成 ソフトの基本操作を単 ーにて自動化できる	文書作成ソフトの操作 ができる	文書作成ソフトの操作 が不十分である	
到達目標 D	RPAツールでプレゼン テーションソフトの全 体的な操作を複合的に 組み合わせて自動化で きる	テーションソフトの全	RPAツールでプレゼン テーションソフトの基 本操作を単一にて自動 化できる	プレゼンテーションソ フトの操作ができる	プレゼンテーションソ フトの操作が不十分で ある	
到達目標 E	RPAツールで作業を自動化し、課題を解決できる	フローから課題を見つ けることができる	作業のフローを作成できる		対象となる作業を見つ けることができない	

【教科書】

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、講義毎に指示する。

【参考資料】

https://www.uipath.com/ja

【成績の評価方法・評価基準】

授業時に行う小テストや確認問題、提出物などを総合的に評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

回 数 1	英語表記		operations Er		224 TPB		_	
		英語表記		ngineering	学期 1		後期	
1	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル			自己評価	
1			1 RPAの理解 RPAが何かを理解する					
1 RPAツールの種類	RPAに関する知識	2 RPAの種類	さまざまなRPAの特徴を理解する		2			
		3 RPAの活用提案						
2 他のソフトウェアとの連携	RPAのインストールと 設定							
		3 他のソフトウェアを操作 RPAツールから他のソフトウェアが操作できるか確認で						
		表計算ソフトの自動化	1 範囲(1) 範囲を追加できる					
	3 表計算ソフトの自動化(1)		2 範囲 (2)	範囲を自動調整できる				
		3 オートフィル	オートフィルの自動設定ができる					
	士 3 体 いっしゅウ		1 範囲をコピー貼り付け 範囲をコピーし、貼り付けができる					
表計算ソフトの自動化(2)	^ヨ 表計算ソフトの自動化	2 列、行、シートを削除						
		3 CSVにエクスポート	ート CSVへのエクスポートができる					
5 表計算ソフトの自 動化(3)		1 繰り返し 繰り返し処理で指定の操作ができる						
		表計算ソフトの自動化						
		3 VSLOOKUP VSLOOKUPの機能を自動化できる						
	立書作はソフトの)文書作成ソフトの自動 化	1 文書にハイパーリンクを追加	文書にハイパーリンクを追加できる				
6 人番作成ソノトの 自動化(1)							2	
			3 テキストを追加 テキストを文書作成ソフトに追加できる					
7 文書作成ソフトの自動化(2)	文書作成ソフトの自動・化	1 画像を置換 文書作成ソフト内の画像を置換できる						
		2 デキストを直換				2		
		3 文書をPDFとして保存 文書をPDFとして保存することができる						
	プレゼンテーショ		1 スライドにテーブルを追加 プレゼンテーションソフトのスライドにテーブルをi プレゼンテーションソ 0 スライドに画像/動画を追 フラノバス 画像 動画なられて			る		
8 ンソフトの自動化 (1)	ンソフトの自動化 (1)		スライドに画像、動画を追加できる		2			
	(- /		3 新しいスライドを追加 新しいスライドを追加できる					
	プレゼンテーショ		1 スライドを削除 プレゼンテーションソフトの自動化 2 2 スライドコンテンツの書式 スライドコンテンツの書式設定ができる					
9	ンソフトの自動化 (2)		トの自動化 2 設定 スクイトコンナンノの青丸放足ができる					
	 	3 スライドに項目を張り付け プレゼンテーション内のテ	スライドに項目を張り付けることができる					
プレゼンテーショ ンソフトの自動化 (3)		1 キストを置換 プレゼンテーションのマク	ノレセンナーション内のナキストを直換					
		ノトの自動化 ロを美生 ターカー ターカー・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン			2			
		3 ションをPDFとして保存 1 文字列を追加書き込み			\dashv			
11 ファイル処理の自動化 (1)	心理の自 ファイル処理の自動化					2		
						∠		
12 ラッイル処理の自				1ファイルを作成	ファイルを作成できる			
	ファイル処理の自						2	
14	動化 (2)		7アイル処理の目動化 2 ファイルをコヒー ファイルをコヒーでさる 3 ファイル、フォルダを削除 ファイルやフォルダを削除できる					
		1 繰り返し(1)	フォルダー内の各ファイルの基本的な操作					
13	繰り返し	ルーチンタスクの自動	ルーチンタスクの自動 2 繰り返し (2) フェルダー内の各ファイルの場件					
	化	3 繰り返し(3) フォルダー内の各フォルダーの操作						
		情報取得と整理	1 WEBスクレイピング WEBサイトから欲しい情報を取得できる				-	
14	WEBスクレイピン						2	
1.1	グ		3 表計算ソフトへ保存 WEBサイトから情報を取得し、表計算ソフトに保存でき					
\dashv			1 業務等の洗い出し 仕事や作業のフローを作成できる					
15	RPAによる課題解	課題解決				2		
15 次 次	WNASITV	3 RPA実装 課題をRPAにて解決できる						

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

考 等